

1月のことば  
生活の見通し⑥～「言葉と動作」

年が変わると、まず真新しい手帳を開き予定を書き入れます。その中に、すでに予定を知らされて記入しているものもあり、早目に予定を知らせてくれた人の顔が思い浮かびます。予定は早目に言葉掛けされる程、親切に感じ、自身の人間性を尊重されている様に思えて、当該行事に「力を発揮せねばならぬ」とやる気が出ます。

しかし、予定を直前に言われると、「あまり重要視されていないんだなァー。」と思い、更にその行事が始まってから言われると、「命令～強制」を感じます。

\*

---

\*

---

故に、人から自主性、やる気を引き出すのは、「言葉が先、行動が後」の原則があるとされます。

(事例1) 寝たきり患者の病室

- × 悪い看護婦さん …… 意思確認の言葉を掛けず下着を交換する  
⇒ 患者は強制を感じる
- 良い看護婦さん …… 意思確認の言葉を掛けて下着を交換する  
⇒ 患者は自分の意思で換えたと思えて、自分で生きているという幸せを感じる

(事例2) 職場にて人の文房具を借りる時

- × 悪い事務員 …… 人の文具を取ってから「借りるでえ」と言う  
⇒ 冷たい人、いばった人を感じる
- 良い事務員 …… 「借りてもいいですか」と言って確認してから人の文具を取る  
⇒ 丁寧な人、親切な人を感じる

(事例3) 子どものいる家庭

- × 悪い母親 …… “無言で” “説明もしないで” “携帯電話をしながら”～授乳させる、おしめを換える  
子どもを掴んで場所移動をさせる  
手を引っ張る こついでやらせる  
⇒ 子どもは強制、冷たさ、人間不信を感じてやる気のない人間となる
  - 良い母親 …… まず優しい言葉掛けをしてから～授乳する  
おしめを換える、  
納得させてから手を添えて移動する  
納得させた後、物事を一緒にしてあげる  
⇒ 子どもは、物事や生活の見通しが分り、“自分でした”という満足感と人間に対する信頼感を持つに至り、何事にもやる気のある人間となる
- ※ 言葉の話をしない幼児、赤ちゃんになる程、親にされた事は体にしみ込みます。(前頭葉の成長時期)

\*

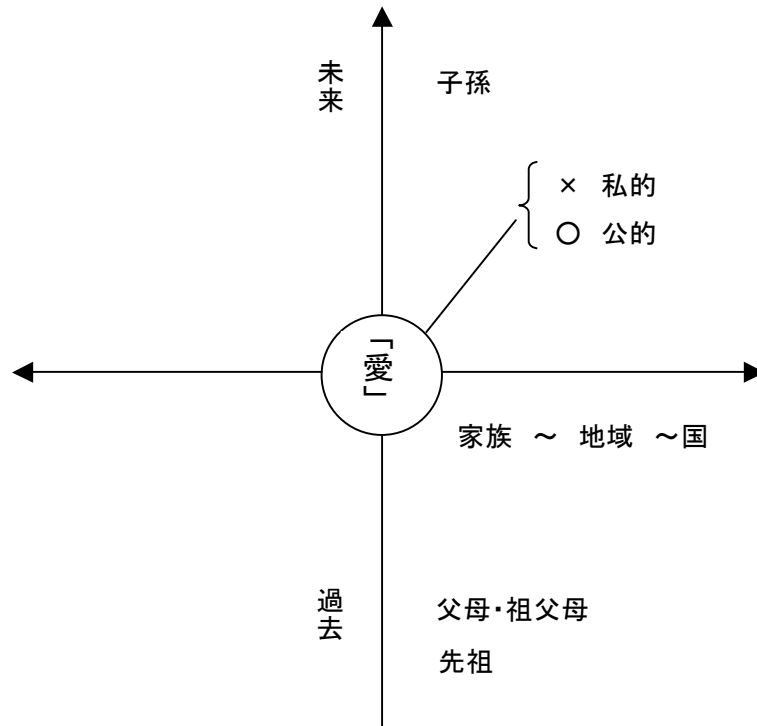
---

\*

---

新年吉初<sup>きっしょ</sup>。まず優しい言葉掛けから行動に移りましょう。

生きる基軸 ～今の日本人の欠如したる考え方



————— \* ————— \* ————— \* —————

◎ 愛の入門編は私的な恋でもよし、しかし、そのままでは他への悪臭多くなる。  
見返りなく全てを包む公的な愛で要<sup>かなめ</sup>を止めておく必要有。

◎ 状況を判断する場合

- 1、「国の為になるのか？ 地域の為・家族の為になるのか？」  
それを逆にも思考… 「家族・地域の為が国の為になるのか？」
- 2、「国民の総意に基づく」とは… 今の人の都合のみで考えず  
過去その事に命をかけてきた先輩・先祖の事、その理由や  
将来の子孫の為になるか否か？を熟慮すること。

◎ その他

- ・ 日本神話 ～ 混迷の時代 … 日本人の基軸
- ・
- ・
- ・
- ・